

## 第2学年2組 音楽科 学習指導案

実施期間 令和4年7月  
指導者 楠中学校 佐藤 亜耶美

### 1 題材の構想

「曲の構造に注目して曲想の変化を味わおう」

教材：交響曲第5番ハ短調／L.v. ベートーヴェン

生徒の姿	曲の構造と曲想との関わりに注目し、「音色」「旋律・リズム」「強弱」などによる表現の違いを比較・理解しながら、思いや意図をもって鑑賞している。また、曲を聴いて感じたことをスケッチや言葉を通して他者と交流し、音楽の特徴やよさを共有することで、楽曲に対する理解を深めている。		
題材の目標	<b>知識及び技能</b> 曲想と音楽の構造や背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。	<b>思考力、判断力、表現力等</b> リズム、旋律、強弱、音色、形式や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、よさや美しさを味わって聴く。	<b>学びに向かう力、人間性等</b> 曲想の変化と音楽の構造に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。
目標に向かうための手立て	<p>○本研究の視点及び「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」</p> <p><b>視点1【めあて】</b>                  曲の構造を理解し曲のよさや美しさを味わう視点から、導入時に、聴きとってほしい音楽を形づくっている要素の提示や前時の振り返りを行うことで、学習の見通しをもち、めあてへとつながられるようにする。</p> <p><b>【振り返り】</b>                  題材全体の学習の流れが見通せるよう、タブレットを活用し活動の記録をまとめていながら振り返りの場を設定することで、曲に対する理解やよさに気づき、自身の変容を自覚して次の学びへつなげるようにする。</p> <p><b>視点2【対話】</b>                  生徒が主体的に学ぶことができるよう、ペアやグループの作成の仕方や、活動に応じた形態の工夫を図る。また、知覚したことと感受したことを関連させながら、タブレットを活用したスケッチを通して言葉で表現し、それを他者と交流する場を設定する。互いの表現のよさに触れながら、自身の曲に対する理解をさらに深めることができるようにする。</p> <p><b>視点3【評価】</b>                  感受したことを比較しやすいワークシートの作成をし、様々なアプリを用いた学習記録もロイロノートでひとつにまとめていくことで、題材を通した学習内容を一つのアプリの中で生徒が確認できるようにする。</p>		
生徒の実態	楽曲の雰囲気を味わいながら聴くことのできる生徒は多いが、曲想と音楽の構造や背景などの関わりを理解することについては、5割程度の生徒が苦手意識をもっている。	音楽を形づくっている要素をよりどころとして、自分の思いや意図をもつことができる生徒は多いが、それを言葉で表現することができる生徒は7割程度である。	楽曲のよさを見つけたり、楽しみながら意欲的に音楽活動をしたりすることができる生徒は9割程度いる。 タブレットを使用した活動にも日常的に取り組んでおり、意欲的な生徒が多い。

題材の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>知</b> 曲想と音楽の構造や背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。	<b>思</b> リズム、旋律、強弱、音色、形式や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、よさや美しさを味わって聴いている。	<b>態</b> 曲想の変化と音楽の構造に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

指導と評価の計画（4時間取り扱い 本時1/4）							
学習課題		音楽を形づくっている要素に基づいて曲の特徴を理解し、曲のよさを感じとろう。					
		音楽を形づくっている要素【リズム、旋律、強弱、音色、形式】					
次	時	◎ねらい ○学習内容 ・学習活動 ◆評価B規準例			知	思	態
第一次	◎第1楽章提示部(第1主題と第2主題)の特徴をスケッチや言葉で表現し、理解することができる。		評価方法				
	第1時 本時	<p>○「提示部」第1主題と第2主題の特徴を理解する。 <b>視点1（めあて）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2つの主題の特徴を、Tayasui Sketches School を使用して、線や点、色で表現し、それを基にロイロノートで「音色」「旋律・リズム」「強弱」など、音楽を形づくっている要素ごとに言葉でまとめる。</li> <li>ペアやグループ、全体で感じたことを共有し、相違点を中心に2つの主題を比較しながら、特徴を理解する。 <b>視点2（対話）</b></li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆【思】スケッチしたことと音楽を形づくっている要素をもとに、2つの主題の特徴を捉え、音楽のよさを味わって聴いている。</p> <p>【態】活動に主体的に取り組み、他者に説明しながら曲の特徴を捉え、記入している。 <b>視点3（評価）</b></p> </div>	思 タブレット・ワークシート ↓	態 観察・タブレット・ワークシート ↓			
第二次	◎楽曲全体の特徴を理解し、曲の特徴、よさや美しさに気付くことができる。						
	第1時	<p>○ソナタ形式について理解し、第1楽章全体の特徴を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時の振り返りをもとに「提示部」全体の特徴の確認をする。</li> <li>「展開部」「再現部」「コーダ」を聴きながら、メタモジを使ってグループごとに曲の特徴をまとめる。 <b>視点2（対話）</b></li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆【知】各部の特徴を捉え、ソナタ形式について理解している。</p> <p>【態】第1主題での活動を生かし、曲を聴いて各部の特徴を理解し、記入している。 <b>視点3（評価）</b></p> </div>	知 タブレット ↓				
	第2時	<p>○第2楽章、第3楽章、第4楽章を聴き、特徴を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動機の使用、雰囲気の違い、形式等に注目して聴き、全体で意見を出し合う。</li> <li>作曲家について理解する。 <b>視点2（対話）</b></li> <li>事前にタブレットで調べたこと(生涯、時代背景、作品の特徴等)を全体で共有しながら理解を深める。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆【知】タブレットを用いて作曲家について調べ、理解している。</p> <p>【態】第1楽章での活動をもとに、他者と意見を交換しながら、楽曲を理解する活動に主体的に取り組んでいる。 <b>視点3（評価）</b></p> </div>	知 ↓				
第3時	<p>○第1楽章についての批評文を書く。 <b>視点2（対話）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>タブレットにまとめているこれまでの学習の記録をもとに、動機や形式に触れながら、曲の特徴やよさを記述する。</li> <li>記述したことをグループで出し合い、全体で発表する。</li> <li>題材全体の振り返りをする。 <b>視点1（振り返り）</b></li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆【思】これまでの学習をもとに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、記述している。</p> <p>【態】主体的に活動に取り組み、それぞれの感じた曲への理解を共有しながら、自身の楽曲に対する理解を深めようとしている。 <b>視点3（評価）</b></p> </div>	思 タブレット・ワークシート ↓	態 ↓				

## 2 本時の授業計画

### (1) 本時の目標

提示部(第1主題と第2主題)を聴いて感じたことを、線や点、色、言葉で表現し、提示部全体の特徴を捉えることができる。

### (2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◆評価	備考 ・ICT 機器等
導入	8分	1 提示部の冒頭部分を聴き、本時の流れとめあてを確認する。	○特徴を考えながら聴きましょう。 ○めあての確認をしましょう。	○印象強く聞き覚えのある冒頭のみを聴かせ、曲への興味をもたせる。	・板書
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     めあて                      感じたことを線や点で表現し、2つの主題の特徴を理解しよう <b>視点1(めあて)</b> </div>					
展開	37分	2(1) 第1主題と第2主題を聴き、それぞれ感じたことを点や線で表現する。  2(2) 音楽のどんな特徴をスケッチで表現したのか、音楽を形づくっている要素ごとにそれぞれの特徴をまとめ、全体で共有する。	○2つの主題を聴いて、特徴を線や点で表わしましょう。  ○ペアで互いにスケッチについて質問し、聴きとったことを説明し合ひましょう。 ・どうしてこの色にしたの。 ・暗くて怖い感じがしたから、黒色を多くした。  ○線や点、色など、スケッチで表現したことを、ロイロノートのシートに音楽を形づくっている要素別に書きしょう。  ○全体のスケッチの中で気になるものをグループごとに挙げ、特徴を全体へ説明しましょう。 第1主題 ・音色は恐ろしい感じ ・動機が反復している ・迫力のある音がする 第2主題 ・高音が多く穏やかな雰囲気 ・弱く静かな感じ	○特徴を捉えやすいように流す部分を区切り、描いている時にも数回流す。  ○音色は色、旋律やリズムは線や点の形、強弱は大きさや太さで表す。  <b>視点2(対話)</b> ○スケッチを通して特徴を可視化し、描いたことを互いに説明することで、音楽の特徴の理解を深めさせる。  ○スケッチを通して、音楽の特徴との関連を整理しながら、理解したことを記入させる。  ◆【態】 活動に主体的に取り組み、他者に説明しながら曲の特徴を捉え、記入している。	・CD ・Tayasui Sketches School  ・ロイロノート
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto;"> <b>【大会主題に迫る工夫と手立て】</b>                      ① 感じとったことを線や点、色を使って表すことで、視覚的に共有できるようにする。また、それを音楽を形づくっている要素と関連付けて言葉で説明しながら、他者との交流を通し、自己のイメージを膨らませることにつなげる。                      ② 2つの主題の相違点を他者と共有しながら、特徴を理解させる。また、全体の流れが見えるよう描いたスケッチを貼りつけてまとめられるシートの工夫をし、全体の活動の記録を見ながら振り返りをして事後の学習につなぐことができるようにする。                 </div>					
		3 提示部全体を聴き、全体の特徴をつかむ。	○第1主題と第2主題を再度聴き、スケッチしたことや音楽を形づくっている要素をもとに、グループで2つの主題の相違点を考えましょう。 ・第1主題は点が多く第2主題は線が多い ・第1主題から第2主題で、暗く怖い感じから明るい感じに転調している。	○グループごとにロイロノートにまとめた表を互いに見ながら、2つの主題の相違点を考えられるようにする。  <b>視点3(評価)</b> ◆【思】 スケッチしたことと音楽を形づくっている要素をもとに、2つの主題の特徴を捉え、音楽のよさを味わって聴いている。	・ロイロノート
終末	5分	4 本時を振り返る。	○考えたことをもとに、楽譜も見ながら2つの主題の特徴を確認します。 ○この2つの主題がその後どのように発展していくのか、次時で確認しましょう。	<b>視点1(振り返り)</b> ○板書、楽譜等を使用し、学習の流れを整理しながら特徴を抑える。	・楽譜 ・教科書

